



日増しに秋が深まり、過ごしやすくなってきました。と同時に食欲の秋も到来し、つい食べ過ぎることもしばしばです。子ども達には、胃袋だけでなく心や体や頭脳も、読書の秋・スポーツの秋・芸術の秋など様々な秋を満喫して、実り多い2学期にしてほしいと願っています。

多くの来校者を迎えて人権教育研究発表会を盛大に開催

10月21日、雲南市はもとより県内外各地から約120名の参加者を迎えて平成27・28年度文部科学省人権教育研究指定校（兼島根県人権・同和教育研究指定校）としての研究発表会を開催しました。

本校では2年前から全校でこの研究に取り組んでいます。今回は道徳の授業を2年生が、社会科の授業を6年生がそれぞれ公開しました。たくさんの参加者に囲まれて緊張するかと心配していましたが、誰もが集中して授業に耳を傾け、堂々と自分の意見を発表している姿は、とても頼もしく見えました。

授業後は、道徳における人権教育や、社会科の授業における同和問題学習について、私たち教員が参加者と一緒に研究を深めることができました。早速、学んだことをこれからの授業に生かしていきたいと考えています。



午後からは、兵庫県西宮市から教育サポーターの仲島正教さんをお招きし「あーよかったな あなたがいて」～優しさという温かい貯金～という演題の講演を拝聴しました。これまでのご自分の経験から得たたくさんの事例をもとに、一人一人を大切にするために教師として配慮すること、親として心がけることなどについて、温かみのある関西弁で熱く語られ、90分の講演がとても短く感じられました。参加者の多くは、明日からまた子ども達一人一人を愛おしく思いながら日々の教育に尽力していきたい、あるいは子育てを頑張りたいと感じられたことでしょう。

人権問題研修会にたくさんの保護者が参加

今年は、江戸時代の身分制度と差別されてきた人々の歴史についてまとめられたDVD視聴を中心とした研修でした。

参加した多くの保護者が、自分達が学習したことと内容が変わってきたことに驚くとともに、現存する不合理な差別について見つめ直すよい機会になったと、感想に書いておられました。



斐伊散策活動「歩いて拾ってGO！」

P T A親子活動として、ごみを拾いながら斐伊小学校区内を散策し、ふれ合いを深めるという新たな試みが行なわれました。

当日は約100名の親子が16班に分かれ、途中ゲームなどを楽しみながら約3キロのコースに挑戦しました。中には初めて歩く場所もあって、ふるさと再発見につながったようです。



手際の良さとチームワークで 学校周辺はあっという間に見違えるほどきれいに…



今年もシルバー人材センター斐伊班の皆様に学校周辺の環境整備作業を行っていただきました。慣れた手つきで次々と植木の剪定や草取りをされ、校舎へ続く坂道沿いの木々やフェンスにからまった葉などもあっという間に見違えるほどすっきりしました。毎年地域貢献の一環で実施していただいているが、とても有難く感謝の気持ちでいっぱいです。これからも健康に留意され、地域のために活躍されることを願っています。本当に、ありがとうございました。

なお、今回参加いただいた方は次の20名の皆様でした。

岡田幸夫さん、石田安男さん、福岡正徳さん、高野ヤシ子さん、菅田貞夫さん、宇田川寛治さん、木村康忠さん、大坂潔さん、赤名一雄さん、岡村八重子さん、高尾清子さん、西村幸夫さん、田部正子さん、渡部輝子さん、岡田美恵子さん、河角富義さん、小林喜好さん、安部百合子さん、松本満子さん、多根章生さん



宿泊研修で協力や責任を学んだ5年生

5年生は、三瓶青少年交流の家で宿泊研修を行いました。オリエンテーリングやキャンドルサービス、三瓶登山といった活動を通じて、協力や責任、規律、自主といった、これから高学年として必要なことを学び、わずか二日間ですぐに分違しくなりました。



最後まで全力プレーを見せた6年生

市バスケット大会がアスパルで開催され、男子が優秀賞、女子が敢闘賞でした。またフリースローの部で、河角那太さんがみごと2位になりました。

みんな練習の成果を遺憾なく発揮し、最後まで素晴らしいファイトを見せてくれました。



危ない時は「キャー」でなく「助けて〜!」

今年のすこやか委員会は、PTA生活部から情報モラルについてのアンケート結果報告と、雲南警察署の方を講師に防犯教室を開催されました。

注意すべき点を役割演技で分かりやすく話されたので、皆とても熱心に聞いていました。



好きな場所で好きなものを思い切り表現

1年生は牛、2年生は汽車、3年生以上は校区内5カ所から自分の描きたい場所を選んで、写生大会を実施しました。

画用紙いっぱいダイナミックに表現する子もいれば、繊細な部分にこだわって描く子もいて、出来上がりが楽しみです。



島根県硬筆書写コンクール ～ 正しい日本語を、個性豊かに美しく書くことをめざして

- 【金賞】 2年 高橋りりあ 4年 荒木優菜、河角乃々葉、森 聡太 5年 矢田貝南菜
 【銀賞】 1年 安部未来、勝平翔大、上野城慶汰、陶山杏織、法橋良来
 2年 亀山真弓、河角海輝、坂田結菜、白築果歩
 3年 佐々木優太、佐藤未歩、中井涼葉、中田海吏、藤原百花
 4年 安部萌々夏、内田寛栄、佐藤直季、高橋成維、多根直幸
 5年 伊藤真稀、多根名月葵、藤原琴葉 6年 岡田有未、北川綾乃
 【銅賞】 38名の児童が入賞しました。紙面の都合で氏名は割愛します。



雲南市読書感想文コンクール ～ いつも傍らに1冊の読みかけの本を置く習慣を…

- 【最優秀賞】 1年 亀尾美月 かさぶたくんのきもちがわかったよ 書名「かさぶたくん」
 【優秀賞】 2年 白築果歩 つよい気もち 書名「ひみつのきもちぎんこう」
 【優秀賞】 6年 北川綾乃 茅乃さんから私へ～平和への思い～ 書名「娘よ、ここが長崎です」
 【優良賞】 3年 石原杏珠 ふしぎなびょう院でおわかれ 書名「かばた医院のひみつ」
 【優良賞】 4年 勝平万尋 お姉ちゃんは、大変 書名「おねえちゃんって、もうたいへん」
 【優良賞】 5年 錦織胡海 ヤマトシジミの食卓を読んで 書名「ヤマトシジミの食卓」



雲南市科学作品展審査会 ～ なぜ?を解明する継続した取組が実を結ぶ

- 【特選】 1年 松島虎之介「あさがおのひみつ みつけたよ」
 3年 細木勇希「つきとめた! 野菜たちの大作せん」(県展へ出品)
 5年 細木和華「野菜のこうその力でロケットをとばそう」
 【入選】 2年 山本あおい「ありじごくの研究」
 4年 高橋成維「色水でバラの花を染める実験」



10月の主な行事予定

27日(木) フリー公開日、ロードレース

11月の主な行事予定

- 12日(土) 学習発表会
 14日(月) 振替休業日
 15日(火) 入学予定者就学時健康診断
 15～21日 お話タイム(全校児童)
 29～12月6日 個人面談(全保護者)



今月のひとり言・・・

「校長先生、なんでそんなに背が高いの?」「さあ、どうしてかなあ。自分でもよく分からんわ」「ふへん」子ども達は様々なことに素朴に疑問を抱き、素直に尋ねてきます。外見で人を差別することは絶対に許されないことですが意図的であっても、何気ない言葉が人を傷つけることになる場合もあります。人と関わる際に欠かさない礼儀や思いやり、配慮、寛容といった気持ちを育て、より多くの人と好ましい人間関係が築ける子ども達になってほしいと願っています。